



FUN'IKI

~ Ambient Glasses ~

「雰囲気メガネが生まれるまで、生まれてから」

株式会社なまえめがね
取締役社長 河村和典

略歴

- ・ 株式会社パリミキ（現三城ホールディングス）入社
- ・ 情報システムにて基幹システム運用、メガネデザインシステム運用、リコメンドシステムAI設計、ITGCなどを担当
- ・ 内部統制にてJ-SOX担当
- ・ 2010年より営業本部にて社内iPad導入プロジェクトを担当
- ・ 2014年より「雰囲気メガネ」プロジェクト担当を兼任
- ・ 2015年3月株式会社なまえめがね設立に伴い取締役社長を兼任

なまえめがねプロジェクト

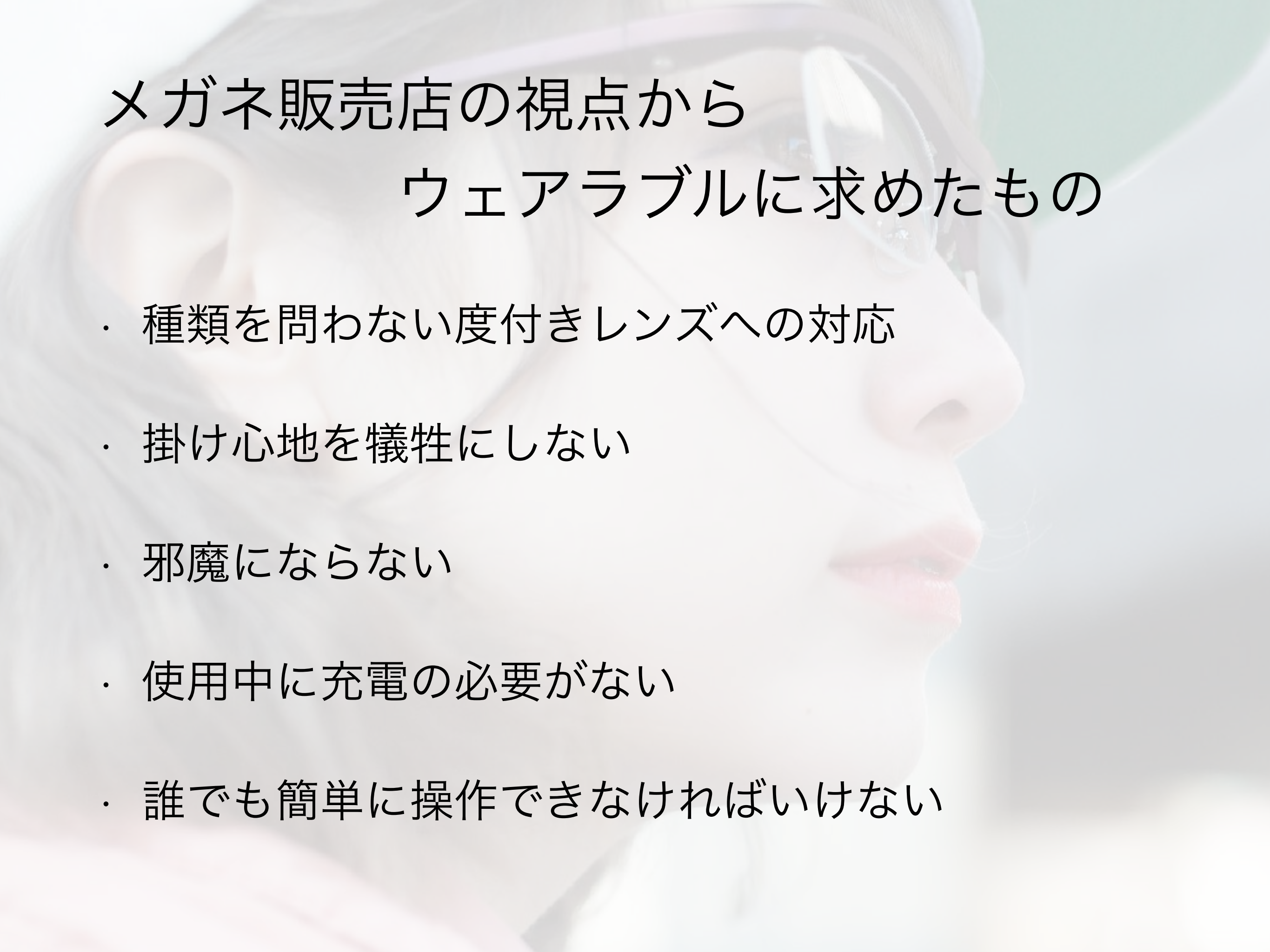
- ・ 名前を教えてくれるメガネが欲しい (2011/10)
- ・ BLEを利用するデバイス開発スタート (2012/3)
- ・ プロトタイプによる実証実験開始 (2012/9)
- ・ Google Glass Explorer発表 (2013/2)
- ・ MWC2013視察 (2013/2)

霧困気メガネプロジェクト

- ・ 霧困気メガネ開発スタート (2013/03)
- ・ 霧困気メガネプロトタイプ完成 (2013/12)
- ・ MWC2014に霧困気メガネ出展 (2014/2)
- ・ クラウドファンディングにて開発資金調達 (2014/7)
- ・ 霧困気メガネ出荷開始 (2014/12)
- ・ 一般販売モデル販売開始 (2015/12)

基本コンセプト

- ・ 情報洪水からの解放
- ・ 日常生活の中に自然に溶け込めるデザイン
- ・ 新たなコミュニケーションの提案
- ・ 機能競争に陥らない
- ・ 視覚の妨げにならない



メガネ販売店の視点から

ウェアラブルに求めたもの

- ・ 種類を問わない度付きレンズへの対応
- ・ 掛け心地を犠牲にしない
- ・ 邪魔にならない
- ・ 使用中に充電の必要がない
- ・ 誰でも簡単に操作できなければいけない

超えなければいけなかった垣根

- ・ 秘匿プロジェクトという縛り
社外プロジェクトだから自由に動ける
- ・ 眼鏡販売店の眼鏡に対する既成概念と心理的抵抗
既成概念に囚われていないメンバーで開発
- ・ 潜在的なニーズが存在するのか
プロトタイプをMWC2014に出展
- ・ 実際にニーズが存在するのか
クラウドファンディングを実施

一般販売から分かったこと

- ・ IoT機器は既存市場向け製品と捉えてはいけない
- ・ IoTの価値を決めるのはハードではなくソフト
- ・ メガネ型ウェアラブルにはまだ本命は存在しない
- ・ 光による情報の可視化には大きな可能性がある
- ・ 自分たちだけで出来ることは限られてる

IoTパートナーの見つけ方

- ・ 自分たちの持つ技術をオープンにする
- ・ 情報のアンテナを常に張りめぐらす
- ・ 気になったら資料ではなくアポイント
- ・ 展示会やセミナー、講演に参加する
- ・ 業界の常識、業界の枠に囚われない

IoTパートナーの選び方


- ・ ビジョンの共有、協創が可能
- ・ 独自のアプローチをしている
- ・ 餅は餅屋
- ・ お互いに補完関係になれる
- ・ 時間軸に大きな隔たりがない

新たなニーズの発見

- ・ 聴覚障がい者のための音の可視化
- ・ 警告音以外でのインシデントの通知の必要性
- ・ これからのヘルスケアは身体状態のフィードバック
頭は五感の全てをモニタリング可能な場所
- ・ メガネ使用時に装着可能なモジュールの必要性
- ・ 個別機能を追加できるオプションモジュール

参考Link情報

- ・ FUN'IKIメガネ
<http://fun-iki.com>
- ・ GitHub (SDK、MDK公開サイト)
<https://github.com/FUNIKImegane>
- ・ 雰囲気メガネ販売サイト
<https://fun-iki.stores.jp/>
https://www.amazon.co.jp/b/ref=sv_lpdjp_3_4?node=464310905
- ・ 取り扱い店舗情報
<https://fun-iki.zendesk.com/hc/ja/articles/206599893-どこの店舗で購入できますか->



ご静聴ありがとうございました